



会報

2018 ▶ 2019
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ
会長目標

親睦と奉仕、
閃きと実行

会長／大嶋 孝広 幹事／堀 光輝

インスピレーションになろう

プログラム

- 本日
来賓卓話「地域における工業の役割」
六友会代表 伊藤 徳彦 様
- 次週予定
来賓卓話「経営者だからこそその終活」
終活カウンセラー 松尾 拓也 様

配偶者誕生日
對馬 真澄

No. 2793
第7回 8月22日

出席報告

前例会

会員総数	33名
出免会員	2名
出免出席	2名
基準会員出席	21名
出席率	69. 69%

前々例会

第4回 7月25日

欠席会員	11名
内メイクアップ	1名
修正出席率	66. 70%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

会長報告

1. 本日10時より小山ガバナーをお迎えし、会長幹事懇談会、11時よりクラブ協議会を開催致しました。
2. 7月28日のあんどんに参加された会員の皆様、そして燕社会奉仕委員長、大変ご苦勞様でした。
3. 7月30日第2回定例理事会を開催し、8月例会プログラム、地区大会について、7月の会計報告、会長幹事がバナー補佐を励ます会の決算報告、クリーン作戦決算報告、交通安全パレードについて承認しました。

まり、送金致しました。皆様ご協力ありがとうございました。

- 深川RCより前年度活動報告書、今年度活動計画書、7月会報と8月例会プログラムを受領しました。
- 妹背牛RCより退任就任挨拶状をいただきました。
- 10月21日に札幌市にて開催される地区大会の案内をいただきました。小山ガバナーの所属している札幌RCがホストクラブです。全員登録をお願いします。前日の20日に留萌ナイトを計画しており、後日人数把握のためアンケートを取りたいと思いますので、よろしくをお願いします。記念ゴルフ大会は19日(金)に札幌国際カントリークラブ島松コースで行われます。
- 公益財団法人ロータリー日本財団より、確定

幹事報告

- 西日本豪雨義援金は総額21,000円の寄付が集

第6回 8月1日(水) 天候/晴

申告用寄付金領収証が届いております。対象者に交付いたします。

ゲスト

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 小山 司様

第1グループガバナー補佐 對馬 健一様

委員会報告

社会奉仕委員会

燕 委員長

先日のあんどんに参加された皆様、大変ありがとうございました。また、次の日の後片付けに参加された皆様、本当にありがとうございます。無事あんどんの事業が終わりました。これから社会奉仕委員会として、8月10日の交通安全総決起集会、パレードがあります。時間は午後4時集合、パレードは午後5時出発となっています。場所は商工会議所駐車場です。よろしくお願いいたします。

ニコニコBOX

- おじゃまします。 小山ガバナー
- よろしく。 對馬ガバナー補佐
- 7月28日のあんどん例会楽しませてくださいました。 東京中央RC 新田会員
- 小山ガバナーようこそ留萌へ。あんどんに参加された皆様ご苦勞様でした。 大嶋会長
- 本日は留萌へようこそ。歓迎いたします。先日開催したあんどん例会皆様に感謝申し上げます。 燕社会奉仕委員長
- 小山ガバナーようこそ留萌へ。

高橋、串橋、堀、関野各会員

前回 261,500円

今回 23,500円

累計 285,000円

プログラム

「ガバナー公式訪問」

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 小山 司様

本日、公式訪問という事で訪問にあたり、会

長・幹事さん、そして皆様の温かいおもてなしに感謝致します。限られた時間ですが、まず最初にR I 役員の一員として毎年年次基金を基本として様々なご寄付等につきまして、全面的なご協力をいただいている事をまずもって感謝申し上げます。年次基金を中心とする寄付の納入率が日本はここ数年、100%を続けているという事で、国際的に日本は高い評価を受けている所です。まずは皆様にこの事をお伝えしたいと思います。また、この度の西日本豪雨の災害寄付につきましても、ご協力いただきまして、大変ありがとうございました。

本日10時から開催された会長・幹事会でもクラブの現況をお聞きしましたが、結論から申し上げますと大変安心もし、このクラブがこの厳しい現況の中で新しいロータリークラブとして脱皮しつつあると確認させていただきました。最近のロータリークラブの会員の動向について申し上げますと、現在日本の会員は89,000人という所にあります。これは世界のロータリアンが123万人ですが、ここ20年殆ど120万人で推移しており変わっておりません。しかし日本を含め先進国は減少がみで来ております。現在R Iは増強を強調しておりますので、皆様のご協力をいただいて89,000人を維持し、9万人、10万人を目標にして増強に力を入れている所です。留萌クラブも会員が大変多い時もあったと聞いておりますが、現在33名の会員になられたと言っても、数の多さでそのクラブの評価をする時代ではないと私は思っております。日本のロータリーの会員数は1997年をピークとして減少し続けております。これは世界的に言っても同じことで、アジア・アフリカなどでクラブの新設増員により120万人を何とかキープしているのが現状です。人口減、経済成長が要因で今のロータリーが減少傾向にある事は確かではありますが、留萌クラブが33人だからと言って落胆したりする事はしないで下さい。むしろ本日訪問して良かった事は、このクラブが30代、40代の方々が30~40%いるという事を確認させていただきましたし、女性会員が3人いらっしゃるという事で、女性会員が会員の10%を占めていますので、将来的にも女性に門戸を開いて増強しやすいク

ラブになっているという事です。現在、日本のロータリークラブで女性会員の平均会員の割合は平均で5～6%といった所ですので、10%となれば大いに評価する所です。女性会員が多い地域は東京・神奈川あたりで、約17%となっております。それでは世界ではと言いますと、20%を越えております。これはそれぞれの国の歴史がございますので何とも言えませんが、日本のクラブの中でも留萌クラブは女性会員の比率が高いクラブであると言えますので、私と致しましては評価したいと思います。どうぞこのクラブの内容を充実させて、女性会員が大いに力を発揮されることを願っております。それと30代・40代の話をしましたが、私は留萌クラブ訪問で16クラブ目となりますが、函館五稜郭クラブでは30代が6名、40代が11名という事で35%を占めており、出産祝いなどのお祝いもあるとの事でしたが、留萌クラブでは既にこの様な事が行われていると聞きましたので、このクラブの将来性に安心も致しました。この高齢化時代にクラブに若い力が入っている証拠でもあり、評価したいと思います。

本日、東京クラブと100年委員会から地区に贈呈されました100年ゴングを持参しました。今私達は歴史的な節目に遭遇しておりまして、その一つは北海道150年であります。1920年に日本最初のロータリークラブが東京に出来てから2020年が100周年になります。東京クラブと日本の100周年記念委員会が100周年に向けて色々と準備が進められておりますが、その一環としてこのゴング(点鐘)が東京クラブと委員会とで折半してお金を出し、日本34地区に寄贈された訳でございます。これを本日、大嶋会長に叩いていただき音色を皆様にお聞かせしたいと思います。

ロータリーの創始者ポール・ハリスについては皆さんよくご存じだと思いますが、ロータリーの創始者ポール・ハリスは、元々ミシガン州の生まれだったのですが、育ったのはニューイングランドの祖父母の下で幼少期から青年期まで生活をしました。これは経済的な事があり父母と別れて祖父母と暮らした経緯があります。住まいはバーモント州ウォーリングフォードの

小さな村で育ち、大変厳しい環境の中で培われた飾り気の無い実直性、勤勉性、あるいは質素という物を尊重しようと、この様な気風の中で育った事が、彼のロータリーの創立に繋がったのではないかと考えられますが、北海道の気候、自然環境が彼と似ている様に感じられ、身分制度などから逃れて自由を求めて北海道に渡って開拓を始めた、道民の祖先たちがここを切り開いてきたと言う北海道道民の持っている性格、気性、価値観がニューイングランドの気候などの類似性から言いつても、北海道道民はロータリー精神を体現するのに最も好条件の中で、先祖からのバトンタッチを受けていると言っても良いのではないのでしょうか。今回節目に当たりまして、ロータリーやロータリー精神と言ったものをもう一度この時代に合わせた形で展開していければと思いますし、その様な節目ではないかと思っております。

北海道を開拓した当時の農務長官のケプロンもアメリカマサチューセッツ出身でございますし、北海道にあった農作物のアドバイスを与えると共に、札幌農学校の創立にも寄与し、後任のクラーク博士の就任も決められてアメリカへ帰国しましたが、クラークも副教頭として赴任しましたが、彼もニューイングランドの出身である事を付け加えまして、節目について少しお話をさせていただきました。

次に皆様方からもご寄付をいただいている優先課題のポリオプラスですが、ポリオ撲滅運動についてお話をさせていただきます。1988年に当時ポリオ発症者35万人を超えており、そこからポリオワクチンの接種の呼びかけがあり、ポリオ撲滅のキャンペーンを展開した訳ですが、昨年は22名、今年6月末で11名の発症者が確認されております。もう少しの所まで来ているのですが、足踏み状態が続いております。現在この寄付額が、ロータリー会員から5000億ドルがあり、それに加えて昨年から3年間に限り、年間の倍額が3年間支給され、総額1億5000万ドルが増額されます。現在ナイジェリア、アフガニスタン、パキスタンの3か国等で発生しており、いずれも紛争国でございます。なおかつパキスタンでは、現代医学を受け入れない部族

第6回 8月1日(水) 天候/晴

もおりまして、医療予防活動が徹底しない事が要因の一つとなっております。1980年に天然痘が撲滅したという事実がございますので、第二の疾病撲滅という事で頑張っている所でございます。

それともう一つ、お知らせでございますが、プレス「しあわせの呼吸」というタイトルの映画が9月札幌にて上映される事になっております。これを地区が合同鑑賞という事で、今交渉中でございます。ですから何日の何時から何時まではロータリアンだけの鑑賞時間として設ける予定でございますので、それが決まりましたらご報告をさせていただきます。この映画の内容は、28歳で病気を発症して36年間人工呼吸器を付けて人生を全うした実話に基づいた映画です。本人とその家族のお話ですが、ポリオサバイバーと言われておりますが、我々の活動を理解して頂くためにも是非観ていただきたい映画になっております。時間に制限がありますので、あまり時間がありませんが、もう少し時間をいただきます。

私はロータリーを楽しむ所まで行かないとロータリーの活性化は無いと思っています。その為にはロータリーを良く知る必要があります。それを重視するために推薦する本がございます。ロータリー入門書とロータリー情報ハンドブックでございます。一読されてみてはいかがかと思えます。また、ロータリーの推薦するRLI（ロータリーリーダーシップ研究会）というものがございまして、我が地区でも昨年からトライアルを行っております。昨年度6月9日に実際に行ってみましたが、これはチームディスカッション、ロールプレイ、あるいは問題解決セミナーなどで、このセミナーの手法を取り入れて行っている所でございますが、約7~8名で1グループとして、各グループ別々のテーマ、例えば職業奉仕とはなんぞやとか、ロータリーに因んだテーマにて話してもらい。別に答を出す訳でもありません。そのメンバーが理解している部分を話し合ってもらおうという事で、普通だと眠くなってしまいがちですが、自分も意見を言わなければならないと、相手の言葉も聞かなければなりませんので眠ってなんかはいられ

ません。いつの間にかロータリーの理解が深まったと言う様な事になっていきます。この様な事から、只今RLIの準備を進めている所でございます。1クラブ2名を会長さんに指名をいただいて毎年1回必ず行われますので、ご希望の方はいずれ必ず出席が可能な状態になるという事で、将来リーダーたるべく人であったり、若い方々やもっとロータリーを知りたい方でも良いと思えますし、現在リーダーとして頑張っている方でも良いと思っております。

最後にまとめに入りますが、現在私たちは厳しい状況にあるといっても良い状態にあります。現在都市部と地方の人口格差が大きくなり、相対的に日本の人口は減少しております。2100年の80年後には人口は6,000万人になるだろうと言われております。つまり7,000万人減少するという事です。これは国立社会保障人口問題研究所という所の推定値でございます。女性の95%の20代から39歳までの人が出産するという事で、これを出産年齢人口といいますが、ちなみに2000年は1,750万人だったのが、2020年を迎えようとする現在は1,270万人位になっており、わずか20年で25%も減少している事になります。合計特殊出生率は1947年には4.53人なのが、現在は1.21人となっております。これは女性が生涯何人の子供を産むかという人数でございます。この事から人口減は避けられませんので、ロータリーの増強は30代・40代に参加してもらう様に考えなければなりません。ロータリーが新しい時代の活動内容を展開して、活動を継続させるためにどんどん若い会員を勧誘していただければと思います。たとえ数が減ったとしても良質のロータリー運動を継続する事が新しい時代に適応したロータリー活動に繋がっていくんだろうと思います。冒頭言いましたが、留萌ロータリークラブはそういった意味で、先端を行っていると思います。これからも色々困難な事があるかと思いますが、大先輩を含め世代間ギャップを最小に出来るような交流を深めて留萌ロータリークラブがさらに発展していく事を期待して私の公式訪問での卓話とさせていただきます。ありがとうございました。